

# 地域の課題をとらえて

## 1氏が一般質問



鷲見 悟

Q、酪農の担い手対策をどうするの

A、農協と協議して進める

Q、深地層施設関連の実規模(PRR事業)の予算はなぜ減ったのか

A、町としては知らない

つつ組織論というものをなされている」と述べているが、町長としてどう考えるか。

町長 平成12年11月の科学技術庁、現在の文部科学省が立会となり、北海道と幌延町、核燃料サイクル機構の3者が放射性廃棄物を持ち込まない、使用しない、最終処分場にしないことを定めた協定を結んでいる。これを遵守して事業が進められると考えている。

質問 文部科学省の発言についてどう考えるのか。  
町長 よく分からない。答える立場にない。

質問 民主党が推進する個別所得補償方式は、農家として歓迎すべきものがあるが、町長としてどう考えるか。

町長 酪農も予定に入っているが、今後の展開を注視したい。

質問 今年度の長雨で北海道全体としては6百億円被害が出ているが、幌延町の被害額はいくらになるか。  
町長 牧草で3千2百万円、デントコーンで2百万円。合計で3千4百万円程度となっている。

質問 農協が構想している農業法人への支援策についてどう考えているか。

町長 農協全体での決定であれば、設立に関する事務、農地法に係る事務等の支援を考えている。

質問 新規就農、担い手対策について進捗状況はどうか。

町長 農協の法人構想の中に新規就農の担い手対策が盛り込まれており、町として期待している。

質問 深地層研究施設の平成22年度予算はいくらか。  
町長 36億円と聞いている。

質問 事業仕分の中で、担当省庁の文部科学省は大変微妙な発言をしている。現在の原子力委員長も「ある時間を経てある議論を経ると、視点が決まる」という仕掛けを明示し

「ある時間を経てある議論を経ると、視点が決まる」という仕掛けを明示し



昭和36年の写真(牧草収穫状況)

### 議案の質疑

議案に対する質疑は次のとおりです。

▽議案第2号、第3号 財産の取得について

問 各学校に配置する「地デジ対応デジタルテレビ」42台と「パーソナルコンピュータ」93台の購入にあたっての条件は何か。  
答 各学校の整備計画を基に今後のメンテナンスや仕様書等、条件を附して契約した。

問 購入にあたって地元業者を中心に行われたとの事ですが今後も地元業者で考えているか。  
答 地元で調達できるものについては地元から基本的に今後も考えている。

▽議案第4号 幌延町安全で安心なまちづくり推進条例の設定について

問 空地空家など防犯に配慮した適切な管理が出来るか